

せんじょう地と 家の周りのぎどう 作り



4年1組

横田美緒梨

1. 研究のきっかけ

総合の時間に世界農業の産について勉強して、疑問に思ったことがあった。それはせんじょう地はどうやってできたのか、どうしてせんじょう地は果樹がいばいにできているのかだ。

家の周りにたくさんぶどう畑があるので、ぶどうの作り方も知りたいなと思った。

それでせんじょう地とぶどうがいばいについて調べようと思った。

2. 言いたいこと

- ① せんじょう地はどうやって、
できたのだろうか。
- ② どうしてせんじょう地が果じさい
ばいにてきしているのだろうか。
- ③ ぶどうの具体的な作り方
- ④ 家の周りの実さいの畑の様子。

農家のインタビュー

3. 予想

- ① 高いところから水が流れること
によってせんじょう地ができたと思
う。
- ② せんじょう地のどく特な気候と
土の種類が果じさいばいに関係して
いると思う。
- ③ いつも食べているだけで作り
方が分からないが、赤いえき体を
小さなぶどうにつけている人やまだ
小さいぶどうに紙のかさをかけ
ている人を見たことがある。
ぶどう作りはむずかしそう
だと思った。

④ 広くてたくさん木が生えていると思う。

ぶどう作りは大人数でやっていると思う。

1つの畑でいろいろな種類ぐういのぶどうが作られていると思う。

4. 調査方法と道具

① 方法

- ・パソコンで調べる。
- ・実際に畑へ行ってみる。
- ・近所の農家の人に話を聞いてみる。

② 道具

- ・えん筆
- ・メモ帳
- ・カメラ

5. 成因と結果

① せんじょう地はどうかでできたのだろうか。

せんじょう地はせまい山の間を流れる急な流れの川が広い平らな土地に出た時、その流れが弱まることにより、運ばれてきた土砂がおうぎの形のようにつもてできる。

せんじょう地が作られるじょうけんとは？

(1) 川の上流の山が削られ

やすく、急なしゃ面である。

(2) 川の下流の土砂がつもる地いきは、川が自由に流れを広げたり、い動したりできるほど広いこと。

(3) 石や小石が流れにも、こいかれたり、水の中にしずんでしまうような地形ではないこと。



上流部

大きな岩や石がごろごろ転がっている。川の水は表面を流れている。急な斜面なので、土地は利用できない。

中流部

砂や小石がつもっている。川の水が地下にしみこみ、水の流れが表面にあたりにくい。水は地下を流れている。昔はそう木林や、くわ畑が多かったが、今は果樹園が多く見られる。水はけがよく土地は坂になっている。

下流部

坂が平らになる。地下にしみこんでいた水が地表に出てきて、水の流れが見えるようになる。おき水があるので、住たくちが多い。

② どうしてせんじょう地が果じゅさいばいにてきしているのか。

・水はけの良さ

せんじょう地の中央部分は砂や小石がつもっている。水はけが非じょうに良い。水はけが悪いと、果じゅの根がくさ、こかれてしまふことがある。しかし、せんじょう地はそのバ配がすくないため、果じゅさいばいにてきしている。

・日当たりの良さ

上から下に向かって低くなる地けいで中央部分はてき度な坂にな。

ていて日当たりが良い。

果じゅは日光を必要とするため、日当りの良さは果じゅさいばいにおいて重要だ。

・昼夜の寒たん差

昼夜の寒たん差が大きい特なうがあり、果じゅの甘みがうえるこ
うかがあると言われている。

・水不足のきけんせいが少ない。

果じゅによては、水が多すぎると育ちが悪くなることもある。

せんじょう地は水はけがよいため、水不足のきけんせいはほかの土地と比べて少ない。

これらの理由から、せんじょう地は果じゅさいばいにこきした地形として、古くから果じゅ園として利用されてきた。特に、山梨県のようにぼん地にせんじょう地が発達している地では、ブドウやモモなどの果じゅさいばいがさかんだ。

③ぶどうの具体的な作り方
ぶどうイ作では一年間を通してどのような作業が行なわれているのか、調べて次の図にまとめた。

季節ごとの畑の仕事

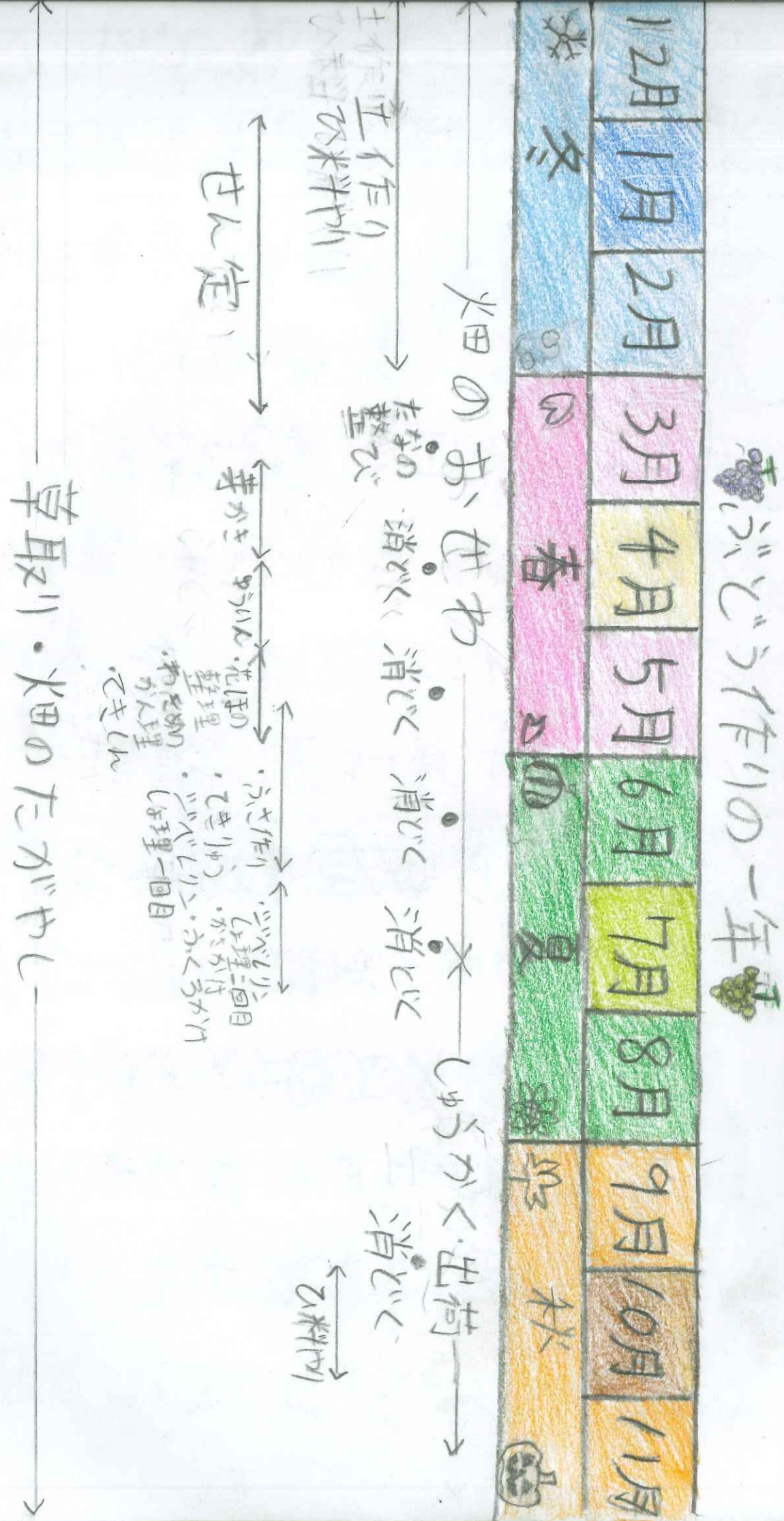
冬…良いふじうを作るために、ひ料を
やり、土をたかやす。いらないえたを
切り落とし、木の形を整える。

春…ぶどうたなを整びし、芽が出てきたら、よ分な芽を取りのぞく。えたが伸びてきたら、たなにとめて、日当たりや風通しを良くする。

花ほ(しょう来の実)を1つのえだに

1.にする。ふえすぎた葉、はを
取ったり、えだが伸びすぎない
ように芽を取る。

病気や虫から守るため、消臭くを



数回する。

夏…花ほからだんだん小さくなるので、大まかに形を整える。
5月の糸冬ありからだんだんとつぼが
大きくなってくるので実をへらして、
かさの大きさや形を整える。

種なしぶどうを作るために、

ジベレリンという薬をかさにつけ
る。この作業は二回する。

雨や虫からぶどうを守るため、かき
かけやふくろかけをする。

消どくを数回する。

おぼん前から早い品種は、
しゅうかくと出荷が始まる。

秋…しゅうかくが本番となる。大きき品種
別に箱につめて、出荷する。
出荷が糸冬ありたあとは消どくと
みりやみりをする。

一年を通して草取りと畑のたがや
しはずとやる。

④ 家の周りの実さいの畑の様子。

畑を遠くから見たり、実さいに
中に入ったりして、雀見さつした。



◀家の二階から
見たぶどう畑の
様子。

葉は、が
ない所は

ぶどうだなの様子がよく見える。

細いはがねでたて横に同じ
かんかくではりめぐらされている。

ささえているぼうも何本も立っている。



◀庭から見た
ぶどう畑の
様子。
せんじょう土

なので、坂になつてゐる土地も石がき
をつむことで平らにして使つてゐる。



◀石がきの様子。
周りにある自
らの石をつみ
あげて、石が
きを作つてゐる。

この方法は野面づみという。

ちなみにこの方法は甲府城と

同じつみ方だ。



◀ 甲府城の石がき
大きい石から小さい
石までイ使、こつみあ
げうたこいる。

いて日かけだった。

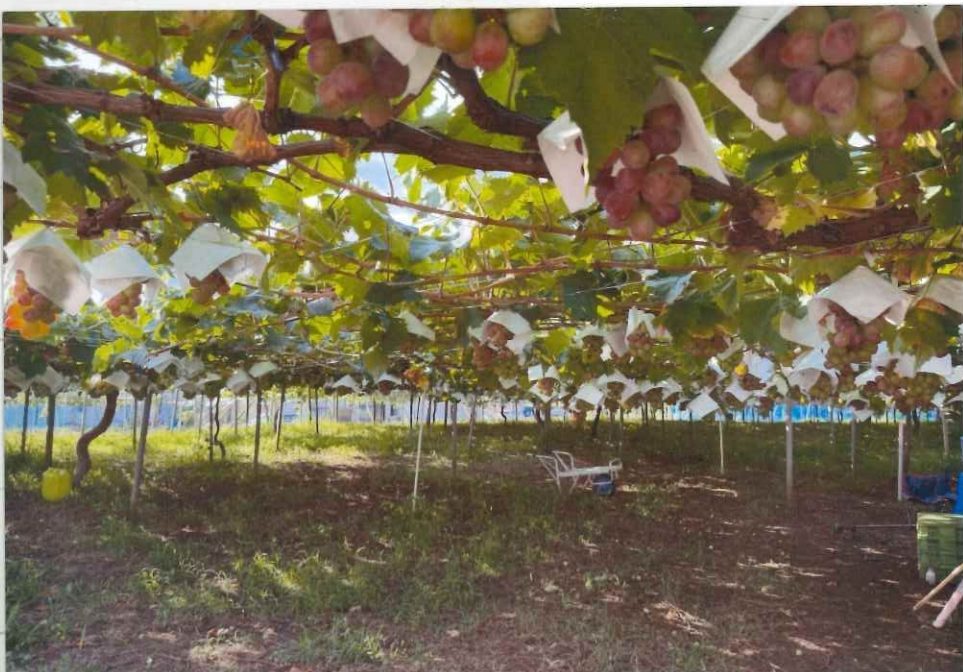


◀ しゅうかく前
のぶどう。
かさとふくろ
がかけられ
こいる。

中身は「シャインマスカット」。



◀ かさがかけ
られて、大き
くなつたぶど
う。しゅうかく
されていた。



◀ 実さいいの
畑の中の様子
おくにたく
さん木が

見える。思ったよりもぶどうがいたくさ
んなっていた。葉はもたくさん生えて

品種はバイオレットキング。

農家の人へのインタビュー

古屋 良平さん (43才)

Q1 農業を何年ですか?

A1 5年

Q2 その前は何かをしていましたか?

A2 大学しょく員

Q3 子どものころ手伝っていましたか?

A3 手伝っていない。

Q4 ぶどう作りで工夫していることは何ですか?

A4 ぼう風ネットをはっている。
とうなんぼう止にもなる。

Q5 ぶどう作りで大変なことは何ですか?

A5 ぶどうの成長に合わせて、
作業をしなければならないこと。
作業の中ではふさ作りとこきりゅう。

Q6 どんな品種を作っていますか?

A6 シャインマスカット・ピオーネ

・ブラックビート・バイオレットキング

・かいのくろまる・ベリー-A・マイハート

Q7 仕事でバグっていることは何ですか?

A7 おいしくなるようにていねいに作っている?

Q8 ぶどう作りをしていく中で困っていることは何かありますか?

A8 暑いこと。温だん化で作業の時期がおそくなったり、早くなったりしている。

かめ虫がたくさん発生してしまう。

夜の気温が下がらないので黒いぶどうの色がつかない。

Q9 1日何時間働いていますか？

A9 いそがしい時期は日の出から日没。
うつうは6時間から11時間。

Q10 何人くらいで働いていますか？

A10 きほんは1人。いそがしいときは1~4人。

Q11 冬休みはありますか？

A11 ある。

土作りやふ料かけなどの仕事は
する。

Q12 何本くらいの木が植えられていますか？

A12 20本くらい

志村 幸彦さん(69才)

Q1 農業を何年ですか？

A1 26年

Q2 その前は何をしていましたか？

A2 農業をやりながら、勝ぬまのワイナリ
でワインを作っていた。

Q3 子どものころ手伝っていましたか？

A3 お父さんの足が不自由だ。たので、
小学生のころから手伝っていた。

そのころはぶどう作りではなく、
田んぼやクワ(おかひこさん)ももを
作っていた。

Q4 ぶどう作りで工夫していることは
ですか？

A4 おいしいぶどうを作るため、
1つの木になるぶどうの量を
調節している。

甲川市では、畑のぼう風ネットの
色を茶色にするなどして、景観
を大事にしている。

Q5 ぶどう作りで大変なことは何で
すか？

A5 暑いこと。

ね、中しゅうに気を付けなければ
ならないし、日中は暑くて仕事
ができない。

暑すぎてぶどうが小さくなっている。
ぶどうの成長に合わせて作業を
すること。

Q6 どんな品種を作っていますか？

A6 ヴァインマスカット、スカーレット
、サンシャインレッド、グリーンニーナ

Q7 仕事で心がけていることは何で
すか？

A7 畑をきれいにすること。

めんどくさがらないこと。

Q8 ぶどう作りをしていく中で困っ
ていることは何かありますか？

A8 人手が足りない。

外国の人がきて手伝っているところ

もあるが仕事を教えることが大変。

Q9 1日何時間働いていますか？

A9 夏のしゅうかく時其月は6時から12時、6時間。

5月、6月のいそがしい時期は、

朝5時から6時、12時間。

冬は6時間。

Q10 何人ぐらいで働いていますか？

A10 2人。1週間に2回ぐらいは3人。

Q11 冬休みはありますか？

A11 ある。

ひ料をまいたり、せんていしたりする仕事はある。

Q12 何本ぐらいの木が植えられていますか？

A12 25本～35本

6. 分かったこと

- ① せんじょう土世は高い山の間を流れる、急な流れの川によって作られていることが分かった。山梨県には高い山が多いので、せんじょう土世が作られやすいのかなと思った。
- ② せんじょう土世は、水はけや日当りが良く、昼と夜の寒たん差が大きいという特ちょうがある。これは、果じゅさいばいに、とても良い条件である。水が多すぎると育ちが悪くなるので、水が少

なくても大じょうぶだ。

予想通りだった。

- ③ ぶどう作りは、1年を通して思ったよりやることが多いことが分かった。ぶどうは、夏の終おりが、秋にかけてしゅうかくされるので、5月から7月は、糸田かい作業が多く、特に大変だ。しゅうかくが終おった後も土作りやせんていなどの作業があることをはじめて知った。
- ④ 実さいに畑へ行ってみると、広くて、予想したよりもぶどうがたくさんなっていた。木は予想したよりもづな

石がきをつんで土地を平らにする
ことを知らなかったのて昔の人の
知えはすごいと思った。

農家の人の話を聞いて、一番感じ
たのは、ぶどう作りは大変だとい
うことだ。まあ、いそがしいときは
12時間働かしているというこ
とにおどろいた。

次に、ぶどうの成長に合わせて
作業することが大変だと言ってい
た。これは暑さのせいであつたとい
う成長が早くなったり、おそくな
たりするからだ。それから暑いと、
ぶどうの色づきが悪くなったり、

かめ虫が発生したりするそうた。
作業している人も日中の暑い時間
は、働けないうし、お中しょうにも気を付けな
ければならない。

ぶどう作りは人数でやっていると思
たら、基本は1人から2人だった。いそがし
い時期には、3~4人にふえるが、
さい近は、人手不足で困っているそうた。
外国の人が来て手伝っているところも
あるが、仕事を教えるのが大変だとい
言っていた。

1つの畑でだいたいの種類ぐらいの
ぶどうが作られていると思たら、
4~7種類あるものぶどうが作られ

こいて、おどろいた。

7. 感想

今回の自由石研究は、言周やること
が"たくさんあって何日もかかる大変だ"
たが知らなかったことがたくさん分ら
て、とても勉強になった。

農家の人へのインタビューは、きんち
うしたけれどためになたし、楽しか
た。

8. 参考

インタビュー者、志村 幸彦さん 古屋良平さん

ホームページ: NHK for School

国土地理院・山梨地域世界農業遺産
推進協議会・かつぬま岩崎園など